

CDPサプライチェーンプログラム概要 ～エンゲージメントの高まり

2021年6月10日

CDP Worldwide Japan

松川恵美

目次

- ▼ CDP サプライチェーンプログラム概要
- ▼ 気候変動質問書とスコアリング基準
- ▼ 気候変動質問書回答の手引き

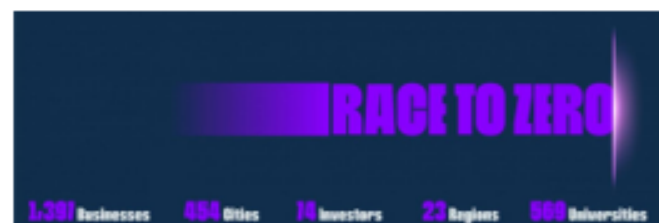
目次

- ▼ CDP サプライチェーンプログラム概要
- ▼ 気候変動質問書とスコアリング基準
- ▼ 気候変動質問書回答の手引き

企業の削減範囲はスコープ3を含むことがコンセンサスに



UNFCCC COP26に向けたRace to Zeroキャンペーン



Oxford大による各種ネットゼロの定義をレビューしたペーパーでは、スコープ3を含むことは、「コンセンサス」と評価。

科学に基づく目標設定(SBT)イニシアチブ



中期目標：スコープ3が4割を超えたら2/3をカバーするスコープ3目標設定
ネットゼロ：スコープ3は必ず含むという案（コンサルテーション中）
金融SBT：ポートフォリオ気温上昇については、投資先企業のスコープ1+2に加えて、スコープ1+2+3についても目標設定が必要。他はSBTに準ずる。

クライメイト・アクション100+

バリューチェーン全体が対象。



CDPサプライチェーン・メンバーシッププログラム



- ▼ 自社のサプライヤーリストをCDPに提出（スタンダードレベル：最大500社）
- ▼ CDPは、全サプライチェーンメンバーから提出されたサプライヤーリストを統合し、対象企業に回答要請を送付
- ▼ サプライヤーからの情報開示（回答）を受けスコアリング
- ▼ メンバー企業には収集したサプライチェーンの情報・データを分析して提供
- ▼ サプライヤーにはスコア等のフィードバックを提供



CDPサプライチェーンメンバー（2020年）

2019年125社→155社、2020年→200+社に拡大 対象企業は20,000社+



DISCLOSURE INSIGHT ACTION



2021年CDPサプライチェーンメンバー：JAPAN

Eat Well, Live Well.

Aj

AJINOMOTO.

HONDA

FUJITSU

KaO

Enriching lives, in harmony with nature.

NISSAN
MOTOR CORPORATION



TOYOTA

ひとの
ときを、
想う。 **JT**

Orchestrating a brighter

NEC

SEKISUI

YOKOHAMA

NTT DATA

NRI



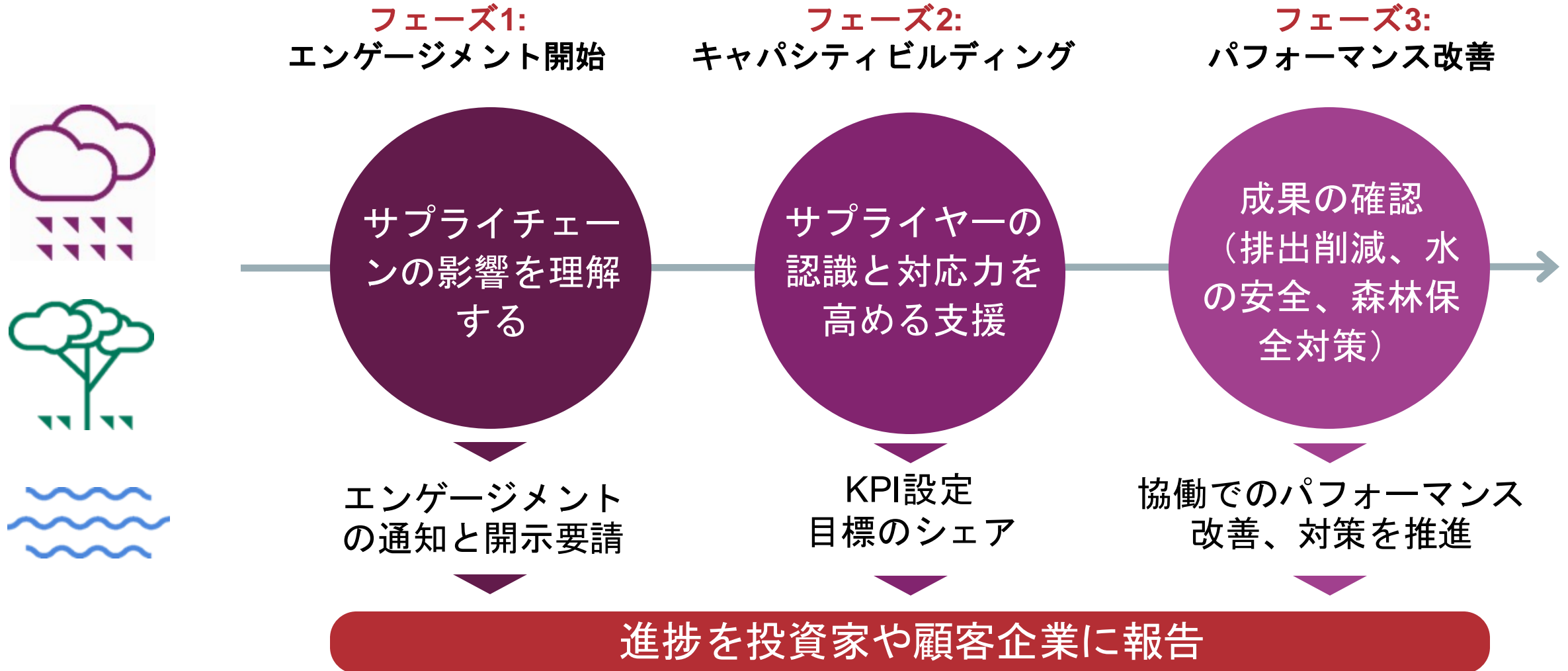
環境省

Ministry of the Environment

Government of Japan

取引先とのエンゲージメント・ロードマップ

- 取引先企業の目標を理解し、サプライヤーとしての対策の強化やパフォーマンス向上を目指す



CDPサプライチェーンに回答する利点 1

▼ 貴社の取引先企業（組織）と、同じ質問書に回答する

グローバルで何が求められているのか、**共通の課題を理解**することができます

▼ 貴社の取引先企業（組織）との関係をより強力なものに

標準化された定量データやスコアを毎年追っていくことによって、自社の取り組みの進捗を取引先と共有し、**協働すべき項目を共に認識**することができます

▼ 他のリーダー企業の事例を学ぶ

「公開」することを選択している企業の過去の回答を参照することで、これまで試行されてきた**ベストプラクティスを学ぶ**ことができます

▼ 貴社の気候変動関連リスクや機会、戦略や削減目標およびその進捗を、管理する

質問書には**TCFDやSBT、SDGs**などが参照されており、これらのグローバルなイニシアチブの最新の動きと整合していきます

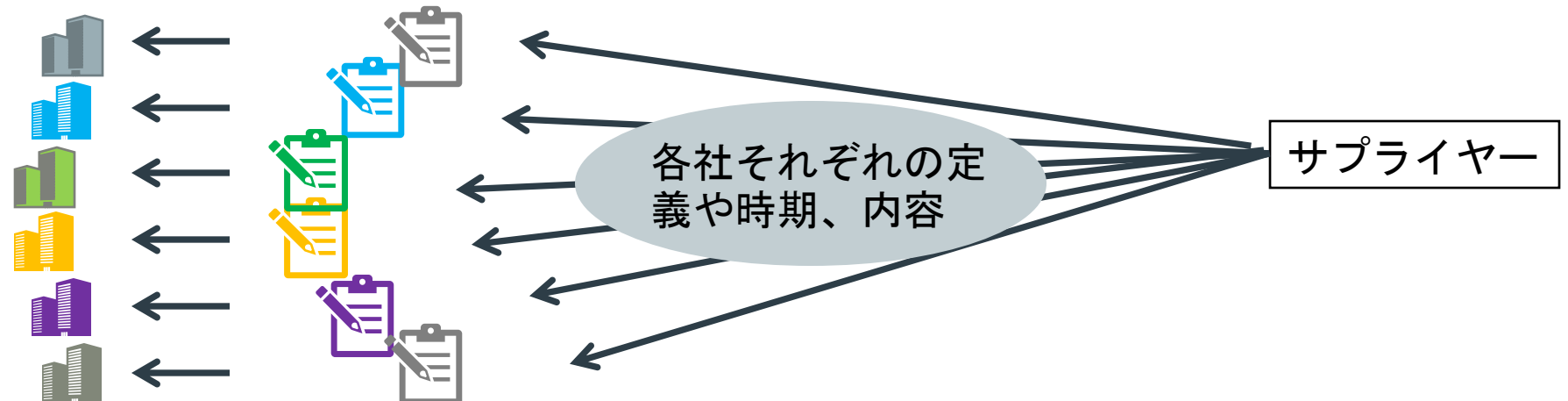
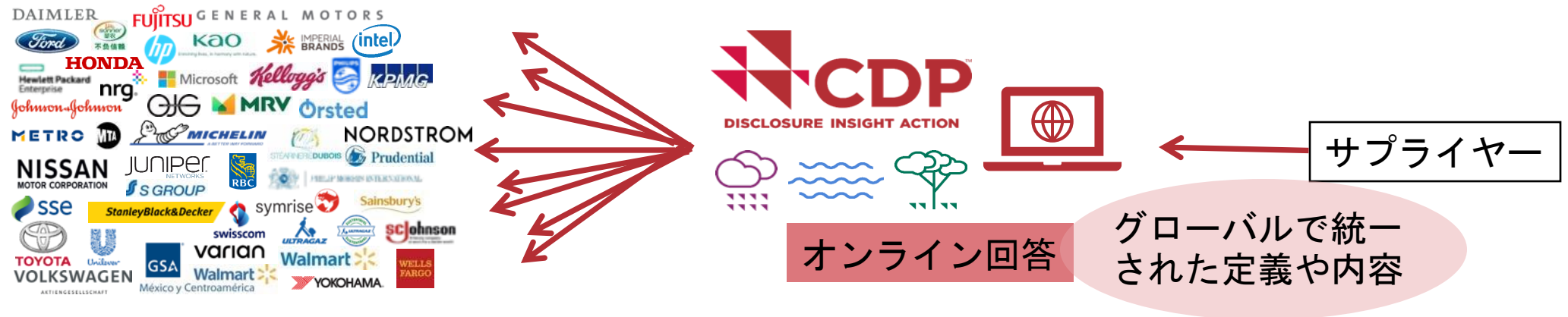
CDPサプライチェーンに回答する利点2

取引先からの心配

“サプライヤーさんに負担をかけてしまうのでは？”

▼複数の取引先への回答が「一回」で完結します

サプライヤー側にとっては、複数の取引先からそれぞれ異なる質問書・アンケートを受け取るよりも、CDPを介した統一質問書に回答する方が、費やす時間が大幅に削減できます



目次

- ▼ CDP サプライチェーンプログラム概要
- ▼ 気候変動質問書とスコアリング基準
- ▼ 気候変動質問書回答の手引き

CDP気候変動質問書 - モジュール構造

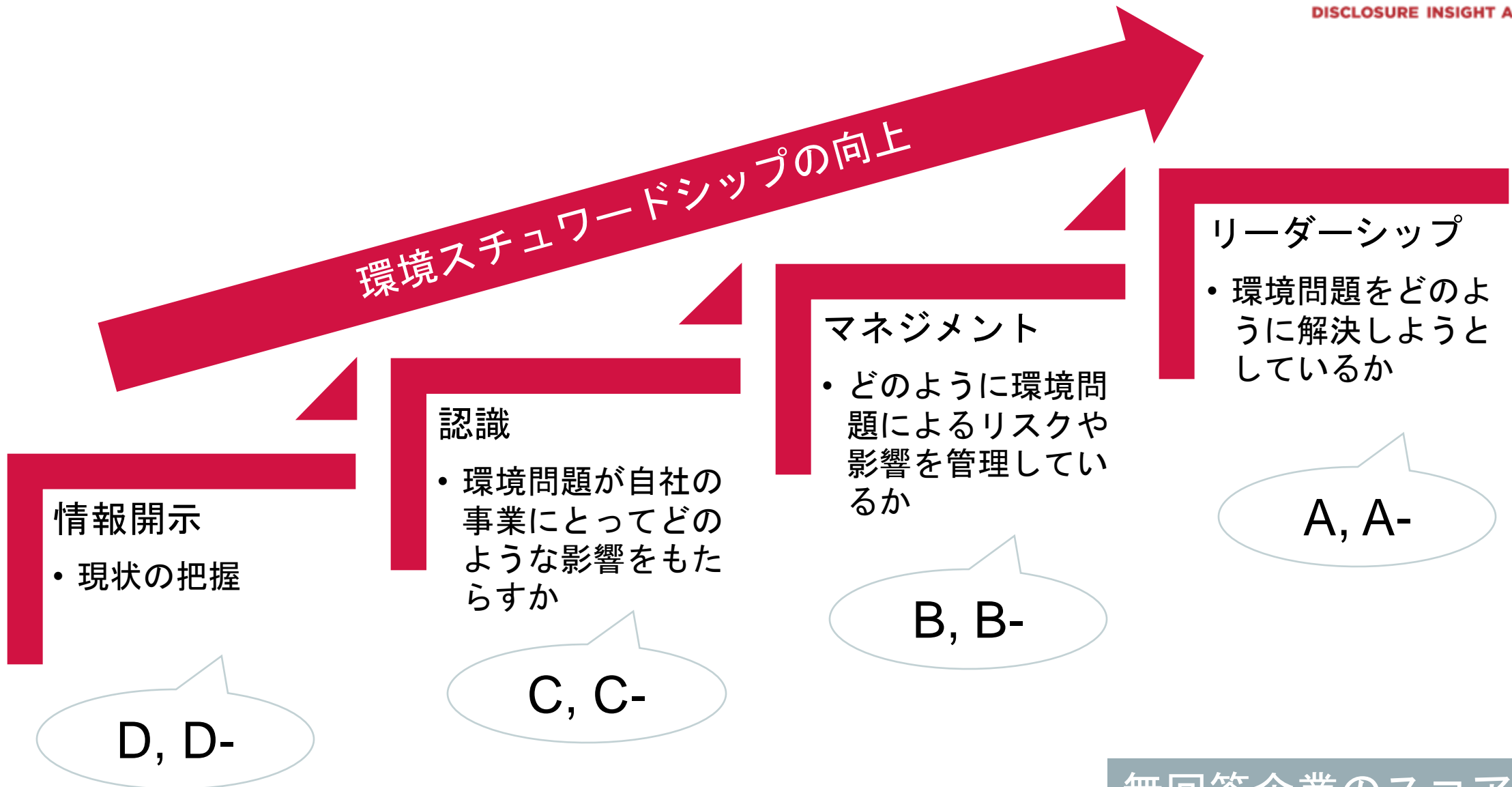


< 採点対象外 >

| モジュール | 内容 |
|------------------|--------------------------------------|
| C0 基本情報 | 企業概要, 報告年, バウンダリ設定 |
| C1 ガバナンス | 気候関連課題の扱い方 |
| C2 リスク・機会 | 企業にとってのリスク・機会の詳細 |
| C3 事業戦略 | 事業戦略への考慮方法, シナリオ分析・低炭素移行計画について. |
| C4 目標と実績 | 削減目標や削減活動による削減実績. |
| C5 排出量算定方法 | C6,C7の算定方法 |
| C6 GHG排出量 | スコープ1,2,3の排出量 |
| C7 排出量詳細 | C6を国・ガス・部門・拠点別等にて |
| C8 エネルギー | エネルギー消費, 低炭素エネ消費 |
| C9 追加指標 | 部門別に生産量や関連指標 |
| C10 第三者検証 | スコープ1,2,3の第三者検証等 |
| C11 カーボンプライシング | 炭素税・排出量規制, 内部的カーボンプライシング |
| C12 エンゲージメント(協働) | サプライヤー, 顧客, その他への気候関連のエンゲージメント(協働)活動 |
| C13 土地利用の影響 | 農業・食品等・林業製紙業のみ, 土地利用による/への影響 |
| C14 サインオフ | 回答についての最終承認者 |

| サプライチェーンモジュール | |
|---------------|-------------|
| SC0 | イントロダクション |
| SC1 | 排出量のアロケーション |
| SC2 | 協働の機会 |
| SC3 | アクションエクステンジ |
| SC4 | 製品ごとの個別データ |

CDPスコアの意味



スコアリング手法



▼各質問に、情報開示・認識・マネジメント・リーダーシップの各レベルの配点が設定されています。

例：C1.1a 取締役会における気候関連問題の責任者の職位をお答えください。

| | 情報開示 | 認識 | マネジメント | リーダーシップ |
|------|---|--|--|--|
| 採点基準 | <ul style="list-style-type: none"> ・ [職位]欄で選択肢から選択している⇒1点 ・ [説明してください]欄詳細を説明している⇒1点 | <p>該当する人物について、[職位]、[説明してください]の両方の欄を回答している⇒1点</p> | <p><u>情報開示レベルが満点でなければマネジメントポイントは与えられない。</u></p> <p>[説明してください]欄の説明内容が、選択した[職位]の内容と矛盾していない、かつ個人の責任がどのように気候問題と関連しているかを説明⇒2点</p> | <p><u>マネジメントレベルが満点でなければリーダーシップポイントは与えられない。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締役会議長、CEO等、特定の職位を選択⇒1点 <p>(上記の1点が付与されたうえで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該個人によって行われた気候問題に関する意思決定の事例を最低一つ記載している⇒1点 |
| 配点合計 | 2点 | 1点 | 2点 | 2点 |

目次

- ▼ CDP サプライチェーンプログラム概要
- ▼ 気候変動質問書とスコアリング基準
- ▼ 気候変動質問書回答の手引き

回答の手引き

- ▼ 情報開示レベルでは、回答が記入されていれば得点となります。選択、数字記入、記述、全ての質問に必ず回答するように心がけてください。空白は得点になりません。
- ▼ スコアリングは、回答欄に記載された内容にのみに基づいて実施されます。
⇒ 外部URLの参照、資料の添付（一部質問を除く）、他の回答欄を参照しなければならない回答等は評価には反映されません。
- ▼ 下位レベルで一定のスコアを満たしていないと、上位レベルのスコアがゼロになる質問があります。
- ▼ フィードバックレポートにある同業種ベストプラクティス企業（A企業）の回答を参考にしてください。
- ▼ CDPのオンデマンド・ウェビナーやスコアリング基準（Methodology）を参照して回答してください。

C2.3a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクを記入してください。

※C2.3で[Yes]を選択

| ①リスクID | ②バリューチェーンのどこでリスク要因が生じるか | ③リスクの種類 | ④主な気候関連リスク要因 | ⑤主要な財務上の潜在的影響 | ⑥自社固有の内容 | ⑦時間的視点 |
|--|---|--|---|---|---|---|
| Select from: • Risk1 - Risk100 | • Direct operations • Upstream • Downstream | Select from: • Current regulation • Emerging regulation • Legal • Technology • Market • Reputation • Acute physical • Chronic physical | See drop-down options below | See drop-down options below | Text field [maximum 2,500 characters] | Select from: • Short-term • Medium-term • Long-term • Unknown |
| ⑧可能性 | ⑨影響の程度 | ⑩財務上の潜在的影響額を回答可能か | ⑪財務上の潜在的影響額 | ⑫財務上の潜在的影響額 – 最小 | ⑬財務上の潜在的影響額 – 最大 | |
| Select from: • Virtually certain • Very likely • Likely • More likely than not • About as likely as not • Unlikely • Very unlikely • Exceptionally unlikely • Unknown | Select from: • High • Medium-high • Medium • Medium-low • Low • Unknown | Select from: • Yes, a single figure estimate • Yes, an estimated range • No, we do not have this figure | Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999,999 using up to 2 decimal places] | Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999,999 using up to 2 decimal places] | Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999,999 using up to 2 decimal places] | |
| ⑭財務上の影響額の説明 | ⑮リスク対応費用 | | ⑯対応の内容と費用計算の説明 | | Comment | |
| Text field [maximum 2,500 characters] | Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places] | | Text field [maximum 2,500 characters] | | Text field [maximum 2,500 characters] | |

この欄を回答していない場合、情報開示ポイントも、その後のポイントも付与されません

[Add Row]



C2.3a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクを記入してください。

※C2.3で[Yes]を選択

⑥ 自社固有の内容

自社固有の内容とは、同じ地域で活動する企業、同じセクターの企業と区別できるような、環境問題の自社にとっての具体的な影響、自社の具体的な活動、固有の製品／サービスを含む記述です。

自社固有の内容 = Mレベル

| 不十分な回答例 0点 | 平均的な回答例 0点 | 良い回答例 得点 |
|---------------------------------|--|---|
| 平均気温の上昇は、当社の事業に悪影響を及ぼす可能性があります。 | 平均気温の上昇により、空調や冷却設備に必要なエネルギー消費量が増加し、コストが上昇する恐れがあります。当社の店舗、事務所、流通センターでは、エネルギー消費量が増加するという特別なリスクがあります。 | 当社の 工場の60% は、平均気温の大幅な上昇の影響を受けやすいとされている中央アメリカにあります。効率的に稼働を続けるためには、気温上昇によって空調および冷却設備に必要とされる エネルギー消費が15~20%増加する と考えられます。これにより、事業全体で 運用コストが約20%増加 します。 |



C2.3a 御社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクを記入してください。

※C2.3で[Yes]を選択

| ⑮ リスク対応費用 | ⑯ 対応の内容と費用計算の説明 |
|---------------|---|
| リスク対応費用の金額を記載 | <ul style="list-style-type: none"> 計算に使用された数値を含め、定量的な内訳を示しながら、リスクを管理するための費用金額を計算した方法について記述（Mレベル） リスクに対処することを目的とした、自社固有の活動、プロジェクト、製品、および/またはサービスに関するケーススタディの記述（Mレベル） |

ケーススタディ（Case study）記載例

回答を裏付けるための具体的なケーススタディを提供することでポイントが与えられる質問があります。ケーススタディを記述する際には、以下に挙げる「**Situation-Task-Action-Result (STAR)**」アプローチに沿った記載を含めてください。

- 1) 状況（Situation）：現状や背景はどのようなものか
- 2) 課題（Task）：何をしなければならないのか／解決すべき課題は何か
- 3) 行動（Action）：実施した一連の行動はどのようなものか
- 4) 結果（Result）：行動した結果、最終的にどのような成果が得られたか



CDP

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



<https://japan.cdp.net/> (日本語サイト)



Contact email address:

代表 japan@cdp.net

CDPサプライチェーンプログラムについて supplychain.japan@cdp.net

2021年回答期限（現時点での予定）

<スコアリング対象>：2021年7月28日